

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

産 業 建 設 委 員 会 記 録

平成26年3月6日（木）
9：54～13：10
〈 全 員 協 議 会 室 〉

【委 員】 布施委員長、牛尾昭副委員長

申崎委員、飛野委員、笹田委員、西田委員、牛尾博美委員

【委員外】 小川議員、西村議員、森谷議員、平石議員、澁谷議員、野藤議員、
上野議員、佐々木議員、田畑議員

【議 長】 原田議長

【執行部】

（産業經濟部） 中村産業経済部長、江木産業経済部次長、山根産業政策課副参事、
砂川農林課長、吉田浩水産課長、栗栖観光振興課長、
村武産業企画係長

（建 設 部） 平中建設部長、下垣建設部次長、河野建設整備課長、原田地籍調査室長
吉田昭男維持管理課長、佐々木巧建築住宅課長、吉川災害復興室長、
藤井庶務係長

（農業委員会） 河野農業委員会事務局長

（金城支所） 吉永金城支所長、芹原金城支所産業課長、岡本金城支所建設課長

（旭支所） 岩谷旭支所長、田村旭支所産業課長、塚田旭支所建設課長

（弥栄支所） 山根弥栄支所長、田中弥栄支所産業課長、宮下弥栄支所建設課長

（三隅支所） 石田三隅支所長、夫田支所産業課長、田崎三隅支所建設課長

【事務局】 浜野書記

議 題

1. 議案第8号 浜田市手数料条例の一部を改正する条例について

全会一致 原案可決

2. 議案第15号 浜田市工場立地法準則条例の制定について

全会一致 原案可決

3. 議案第18号 指定管理者の指定について（旭温泉あさひ荘）

全会一致 原案可決

4. 議案第20号 市道路線の認定について（美川南76号線）

全会一致 原案可決

5. 議案第21号 土地改良事業計画について（農地災害関連区画整備事業（大津地区））

全会一致 原案可決

6. 執行部報告事項

- (1) 元谷団地の利活用に関する整備計画の概要について
- (2) 漁業別水揚について
- (3) 浜田漁港水揚げ資料（2013年報）について
- (4) 平成26年度石見神楽定期公演の開催について
- (5) 浜田駅北地区の土地取得計画について
- (6) その他

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ ミクニマルシェフェアの開催報告・ 市営住宅駐車場整備及び使用料の徴収に係る方針について・ 行方不明者に対する市営住宅の明渡しの完了について |
|---|

7. 所管事務調査

- (1) ゆうひパーク浜田の中庭のコンセプトについて
- (2) 一般社団法人浜田市観光協会の設立について
- (3) 国民宿舎千畳苑の営業状況と今後の方向性について
- (4) 浜田城内の古木について
- (5) 浜田城の天守について
- (6) 美又温泉国民保養センターについて
- (7) ゆうひパーク三隅の方向性について
- (8) 「元気な浜田粹」財源捻出に係る先送り普通建設事業について
- (9) 長浜西住宅移転対象者の状況について

8. その他

【議事の経過】

[9 時 54 分 開議]

- 布施委員長 おはようございます。ただいま出席委員は7名で定足数に達しておりますので、直ちに本日の委員会を開催いたします。
- 議案の審査に入ります前に、皆様にご報告いたします。大田三隅支所産業課長が欠席との連絡がありましたので、ご報告しておきます。
- それでは、ただ今から、産業建設委員会に付託されました議案5件について審査を行います。
- 審査の順につきましては、レジュメに従って審査を行いますので、ご協力をお願いいたします。
- それでは、市長提出議案の5件について、質疑を行います。
- 1. 議案第8号 浜田市手数料条例の一部を改正する条例について**
- まず、議題1. 議案第8号 浜田市手数料条例の一部を改正する条例について、を議題とします。
- 執行部から補足説明等がありましたら、お願いいたします。建設部長。
- 平中部長 議案第8号につきましては、条例の新旧対照表が配付されておりますのでご覧いただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。
- 布施委員長 それではこれより、質疑を行います。質疑をされる委員は挙手をお願いいたします。ないでしょうか。
- (委員より「なし」という声あり)
- それでは、質疑がないようですので、以上でこの件については質疑を終了いたします。
- 2. 議案第15号 浜田市工場立地法準則条例の制定について**
- 続きまして、議題2. 議案第15号 浜田市工場立地法準則条例の制定について、を議題といたします。執行部から補足説明等がありましたら、お願いいたします。産業経済部長。
- 中村部長 特にありません。
- 布施委員長 それではこれより、質疑を行います。質疑をされる委員は挙手をお願いいたします。笹田委員。
- 笹田委員 これ議案質疑で西村議員さんがちょっとお尋ねした部分なんですけれども、他の自治体での例は調べておられないという事と、あと浜田市ではそういった1件要望等々があったという様に聞いているんですけれども、その企業が今後この条例の改正によって、企業がはたしてこれを利用して立地をしていただけるのかどうかという話が進んでいるのかどうか、この1点だけお願いします。
- 産業経済部次長。
- 布施委員長 江木次長 本会議ですすね西村議員さんのご質問にお答えしたんですけれども、相談があったという事で、新たに工場を立地という事ではなくて、市内の業者の方が工場を大きくするという事で、その工場立地法に抵触するのではないかという事での相談でありましたけれども、敷地を多く持っておられ

てですね、現状では問題はなかったという事で、ですけれども12月会において市長がですね企業立地という事で、この条例を制定するという事で答弁しておりますので、今回提案という事になったという事です。

布施委員長
牛尾副委員長

その他、委員の方ないでしょうか。牛尾副委員長。

先般の地方紙によると雲南市でも同じ様な事がという事で新聞記事に書いてありました。県下8市どうもこういう動きがある様なんですけれども、その流れそのものが県下8市大体、同一歩調という様な感じが見受けられるんですが、その原因が分かれば是非お示しいただきたいと思います。それから市内業者さん、1社さんという様なことで今お話があるという様に聞きましたけれども、これで雇用の確保が拡大するのではないかなという様な、非常に良い兆しが見られると思うんですけれども、その辺について感触があれば、まあ披露できる部分で結構ですけれどもお願いいたします。

布施委員長
江木次長

産業経済部次長。

県下8市での同一という事は特にありませんで、平成24年の4月から各自治体が国の基準の範囲以内でできるという事なんで、別にそこで同一歩調を取っているという事ではないんですけれども。それから先程言われました様に、これに抵触するのではなかろうかという疑問を持たれた企業は、当然会社を大きくするとかですね、新たにこちらの方に立地されるとかですね、そういう事ですので雇用の増は大きく期待できると思っております。

布施委員長

その他、委員から質疑がありますか。

(委員より「なし」という声あり)

それでは、質疑がないようですので、以上でこの件については質疑を終了いたします。

3. 議案第18号 指定管理者の指定について(旭温泉あさひ荘)

続きまして、議題3. 議案第18号 指定管理者の指定について(旭温泉あさひ荘)、を議題といたします。執行部から補足説明等がありましたら、お願いいたします。産業経済部長。

中村部長
布施委員長

特にありません。

それでは、これより、質疑を行います。質疑をされる委員は挙手をお願いいたします。笹田委員。

笹田委員

あさひ荘が新しくなってこれを指定管理で管理してもらおうという事なんですけれども、これ8月1日からという事で、開館は8月のいつになるのかまず1点と、あと2年8か月という事で、これはおそらく地元の結びつきが強いと書いてあるので、おそらく今の段階で話してどうかと思うんですけれども、今3年とか5年という事で、最初だから3年だと思うんですけれども、私個人的には地元と結びつきが強いという事で、5年間きっちり指定管理してもらった方が良いのではないかという気持ちもありますので、その辺の考え方。それと2年8か月間のこの960万円というお金がどういった試算で指定管理してもらおうのかというところの3点お願いいたします。

布施委員長
田村課長

旭支所産業課長。

3点についてお答えさせていただきます。まず8月1日からという事ですけれども具体的にはですね今指定管理予定者の方と話をしているのは、その週の日曜日、直近の日曜日、8月3日を今のところ想定した準備をしておられるという様に伺っております。それで当面2年8か月で今回スタートさせ

ていただきます。まあ5年間というスパンで考える方が今後いろんな計画を立てる上ではメリットがあるとは思いますが、何より初めての施設であるという事、そして熱源が初めてチップボイラーを使うという事、そして指定管理という初めての管理体制であると、いう事を加味いたしまして、何もかも初めてですのでとりあえずこれでやってみて、自信を付けていただきたいと、それで課題があればという両方の意味で当面2年8か月という事で今回に限ってはさせていただいてますが、その後につきましてはまたその様子を見ながら管理者の方と話をしながら決めて行きたいと思っております。それで960万円ですが、9月に債務負担行為を起こさせていただきまして、昨年の9月議会で、その時には350万円、年間350万円という事ですが、消費税の関係で今10万円アップの360万円と考えております。その元々の350万の根拠は単年度でどうしても毎年ここ数年の平均で700万円くらいの赤字になるという状況でして、その中で今回先程言いましたチップボイラーする事によって燃料代等が約150万円くらいはカットできるだろうと思っております。そしてリニューアルする事によって修繕費が大体70万円くらい浮くだろうと、そして指定管理の方にご尽力いただきまして人件費を約130万円くらいをカットできるだろうという想定で約350万円くらいは減らせるだろうという事で、その残りどうしても克服できない350万円、残り350万円について指定管理料という形を考えております。それでその2年と8か月分という事で960万円、今回は出しておるといふ数字でございます。

布施委員長
笹田委員

笹田委員。

8月3日開館という事なんですけれども、指定管理これで受けられて、何かしらその大々的なカーニバルではないですけれども、浜田市民に知らしめるといふか知っていただいたり、県外の方に知っていただいたりする様な、イベント等々を考えられている事はあるんでしょうか。

布施委員長
田村課長

旭支所産業課長。

この旭温泉は例年6月の第1、第2、第1日曜日に、土日に温泉祭りというものを開催しておられます。今回そのメイン会場が常にそのあさひ荘なんですけど、今年の6月についてはそれが会場が無いという事で延期をされまして、そのあさひ荘のリニューアルオープンに併せて温泉祭りをされると、いふ様に伺っていますので、その時に広くPRされてですねイベントを打たれるという様に伺っています。

布施委員長

それでは、その他ございませんでしょうか。

(委員より「なし」といふ声あり)

それでは、質疑がないようですので、以上でこの件については質疑を終了いたします。

4. 議案第20号 市道路線の認定について(美川南76号線)

続きまして、議題4. 議案第20号 市道路線の認定について(美川南76号線)、を議題といたします。執行部から補足説明等がありましたら、お願いいたします。建設部長。

平中部長
布施委員長

特にありません。

それでは、これより、質疑を行います。質疑をされる委員は挙手をお願いいたします。

(委員より「なし」という声あり)

質疑がないようですので、以上でこの件については質疑を終了いたします。

5. 議案第21号 土地改良事業計画について（農地災害関連区画整備事業（大津地区））

続きまして、議題5. 議案第21号 土地改良事業計画について（農地災害関連区画整備事業（大津地区））、を議題といたします。執行部から補足説明等がありましたら、お願いいたします。産業経済部長。

中村部長

本日資料を1枚、裏表付けさせていただいておりますので、概要をよろしくお願いいたします。

布施委員長

農林課長。

砂川課長

それではお手元にお配りしております説明資料によりまして事業の概要を少しご説明をさせていただきます。既に提案説明で部長より提案しております様に、昨年8月の豪雨災害によりまして敬川の決壊によりまして農地に被害を及ぼしたという事で、その復旧事業を通常現況復旧でございますがより災害に強い復旧と隣接農地等の関連で事業をやる事により、より有効な農地が出来るという事で今回取組むものでございます。資料見ていただきまして所在地から事業主体は提案説明のとおりでございます。現況面積これは事業面積は1.38ヘクタールで内被災した面積は0.74ヘクタール、関連で見被災地で行うのが0.64ヘクタール、被災戸数5戸、計画面積は現況面積と同じで、この事業に関わる関連戸数は9戸という事になっております。それで農地、施設等の概要につきましてはお手元に記載をしておりますとおりでございます。それから2番の災害原因、3番の被災状況と復旧の所の(1)、(2)の所につきましては提案説明等でご説明したとおりでございます。(3)の主要工事につきましては、整地工、区画整理、約20アール程度の区画のものを5区画作りまして、1.14ヘクタールぐらいの農地を作ります。あと道路、耕作道や用水路工、排水路工等を行いまして整地をするものでございます。全体事業費は2500万円で、この内災害復旧に関わる本災で対応するものが1263万3千円、関連事業として行うものが1236万7千円で、事業期間は平成25年度から平成27年度といたしております。なお裏面に現況の、少し見難い地図でございますが付けております。ご覧をいただければと思います。

布施委員長

説明が終わりました。それでは、これより、質疑を行います。質疑をされる委員は挙手をお願いいたします。牛尾副委員長。

牛尾副委員長

これあれですかね、いわゆる排水路を越流したという事で被災をされたという事なんですけれども、この未被災地区も入れてこの排水路を配置することで、今年の8月の様な災害は防げるという様な認識なんじゃないかな。

布施委員長

農林課長。

砂川課長

どの規模までが必ず防げるかという事は、ちょっと明確にお答えにくいところですが、例えば田面を約30から80センチくらい嵩上げをしたり、あと用排水路を、今は曲がった排水路であったりしているものをまっすぐにしたりする事によって、よりそういう災害被害を受けにくい農地を生み出すという事で、今回併せて隣接地も以前より区画整理等のご希望もあったという事で、今回一緒にやらせていただくという事で、今回の災害かなり大きい、特に敬川周辺は被害を受けておりますので、必ず大丈夫だとは言にくい部分はあるんですが、より被災を受けにくい農地になるという事は間違いないと思っ

ております。
布施委員長 その他、委員の方質疑ありますでしょうか。
(委員より「なし」という声あり)
それでは、質疑がないようですので、以上でこの件については質疑を終了いたします。
以上で、産業建設委員会に付託を受けた議案に対する質疑は全て終了いたしました。

6. 執行部報告事項

続きまして、議題6. 執行部報告事項、を議題とします。

(1) 元谷団地の利活用に関する整備計画の概要について

砂川課長 それでは、1点目の元谷団地の利活用に関する整備計画の概要について、ご報告をお願いいたします。農林課長。
砂川課長 それでは、元谷団地の利活用に関します整備計画の概要について、お手元に資料を配付させていただいておりますので、ご説明させていただきます。先般の市長の施政方針やロードマップでも今後の儲かる農業に向けて取り組む重要な柱のひとつとして金城町内にあります元谷団地を取得し農地造成をし今後優良農家等にそれを使っていただくという事で考えております。その概要を少しご説明させていただきます。
(以下、資料により報告)
布施委員長 ご報告がありました。この事に関して、委員の方から何か質問等ありますか。
(委員より「なし」という声あり)

(2) 漁業別水揚について

(3) 浜田漁港水揚げ資料(2013年報)について

吉田課長 ないようですので、続きまして、2点目の漁業別水揚について、及び、3点目の浜田漁港水揚げ資料(2013年報)について、の2件を一括して、ご報告願います。水産課長。
吉田課長 それでは、浜田漁港の漁業別水揚げについて、ご説明いたします。2月分の水揚げにつきましては、現在水揚げ資料の整理中でございますので、1月の水揚げ状況についてご報告させていただきます。
(以下、資料により報告)
続きまして、市の水産課の方が事務局をしております浜田市水産業振興協会で作成いたしました浜田漁港水揚げ資料(2013年報)、こちらについてご説明いたします。
(以下、資料により報告)
布施委員長 2件の報告が終わりました。これら2件に関して、委員の方から何か質問等ありますか。西田委員。
西田委員 1点水産課の方にお伺いいたしますが、これから魚の水揚げ高、将来的には増やす目標で市長も掲げておられますけれども、水産課の方で思われている今の魚の漁獲高を増やすための、色々あると思うんですけれども、今まで既に例えばポートセールスをされたり、或いは港の整備をされたり、或いは魚の単価を上げるための一般消費者のための消費者にもっと沢山消費してもらおう事を考えたり、いろんな策があると思うんですけれども、今一番これが欠

けている或いは一番これがこれから大切だというそれは何かというのを水産課でどの様にお考えか、その点だけお聞きします。

布施委員長
吉田課長

水産課長。

市長の方が申しております水揚高を増やすという事でございますけれども、こちらにつきましては市長とも色々協議させていただきまして、6点ですね市長の方が市長方針で述べさせていただいたと思います。それで一番どれがってというのは、多分どれが一番かという事はないと思うんですね。その6点を着実に進めて行くという事が水揚金額のアップにつながるという様に考えておりますので、水産課もですね市長も同じ思いでございますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

布施委員長
牛尾副委員長

よろしいですか。その他、委員の方からないでしょうか。牛尾副委員長。

一般質問でも言ったかどうか正確に憶えていないんですけども、今ポートセールスってというのは沖合イカ釣りに限定してやっていますよね課長、最近で言えば松江の石橋さんのところがいよいよ大連で飲食店経営をやるという、一般質問でも言ったように大連でいうのは青物を食べる習慣があるんで食習慣のない所へいくら営業を打っても駄目だという事あるんですね。それで思うのはイカ釣りは継続してやる必要はあるし、新たな販路開拓で例えば対岸ですね今言う様に、石橋さんところがやっている、上海も含めて例えば大連であるとか、そういう所を販路開拓しながら魚価のアップを目指して行かないと、例えばこれからその四季の魚とか色々おやりになるんだろうけど、それら全て魚価のアップに繋がる様な方法論って言うか営業をやって行かないと水揚げアップに繋がらないと思うんですね。それで新年度以降そういう事当然おやりになると思っているんですが、水産課もしくは経済部としてのその辺の考え方について承っておきたいと思ひます。

布施委員長
吉田課長

水産課長。

牛尾委員さんの方がおっしゃられた、確かに販路拡大のところは非常に重要なところだと考えております。輸出もでございますけれどもそういったところも漁業だけじゃなくてそういったところも両輪で動かして行かなければ水揚げ量増やす事はできないと、水揚げ金額を増やす事ができないと考えておりますので、そういった事で取組をやっていきたいと。それで広島の方にもプロジェクトチームができますし、また輸出と言いますかその辺のところも産業経済部の方で組織が充実されます。そういった所と連携しながら水産課の方もやっていきたいと考えております。

布施委員長
牛尾副委員長

牛尾副委員長。

是非ですね、僕もこうやって文言で質問をするのは良くないなと思うんですね。ですから例えば青物はどこへ売ればお金になるかとか、例えばアンコウ、少しキアンコウ相場下がってますけど、もっともっとアンコウの売り先は茨城をターゲットとして一所懸命やるとかね、そういうふうに、今市民の方が言われるのはノドグロがみんな東京方面に行って我々が食べるノドグロが小さい奴しかおらんと。でもそれはそれでその相場が高いから向こうへ行くんで漁師の懐は潤ってますよと言うんですけど、生産地市場なのにノドグロも食えんという様に逆にお叱りを受けるんですけど、それは漁業経営にとって良い事だと思うんですね。そういう事例がある様に必ず、いわゆる魚種別にどこの産地を狙うかという事を明確に目標として掲げて、広島だけでは

魚は売れませんので、そう辺も、市長の思いがあつてそれは貴重なんだけど、水産課としては更に魚種別にどこを攻めるかという事を目標を作つて、それこそ攻め方のロードマップというか、水産課としての魚種別ロードマップというか、そうすればどうすれば魚価が上がるかという、そういうところまで今年には是非目標を作つていただいて、それに向かつてやつて行くという営業を販路開拓、そうすると魚価が上がっていけば本会議で私が言ったように、やはり新しい経営者をこの浜田地区で作つていくという。今まき網2ヶ統、底曳5ヶ統、7統を守ると言うのではなくて、そういう守りではなくて新規創出と言うか、新しい経営者をここに入れるという、新しい経営者を入れて漁業の活性化を図つていくという事を、販路開拓と併せてやつていく必要があると思うので、これ以上言うと長くなるので言いませんけど、是非今年はその辺を目標を作つていただいて、そこを攻めて行くという様な水産課としての戦略を是非我々に示していただく様にお願いします。

布施委員長
牛尾博美委員

その他、委員の方ないでしょうか。牛尾委員。

課長ちょっと聞いてみますが、かつては浜田市漁業協同組合と執行部浜田水産課という形で結構スムーズに行つていたと思うんですけども、4年前ですか5年前かJFしまねで一本化されたという事で、まあ軌道に乗つてはおると思うんですが、浜田市の関係、水産課とJFしまねの関係が、スムーズに行つているかどうか、或いは水産業者との関係、その事は良いですが、浜田市とJFしまねの関係がスムーズに行つているかどうか、やり取りがスムーズかどうか、そこの辺確認したいんですが。

布施委員長
吉田課長

水産課長。

牛尾委員さんのご質問なんですけれども、確かに漁協さん合併されまして県内1漁協という事で、今までの漁協さんに比べたらなかなか意思疎通が図れない部分というのはあると思います。しかしながら今現在久保田市長になられまして、またJF会長さんの方とも色々今やり取りというか、何回か会われておられます。そこのところを今後もっと密にする様に、スムーズに行くように水産課としてもやつて行きたいと思つております。

布施委員長

その他、委員の方ないでしょうか。

(委員より「なし」という声あり)

(4) 平成26年度石見神楽定期公演の開催について

ないようですので、続きまして、4点目の平成26年度石見神楽定期公演の開催について、ご報告をお願いいたします。観光振興課長。

栗栖課長

それではお手元の資料をご覧いただきたいと思つています。来年度も県と一緒に進める石見神楽の定期公演でございます。

(以下、資料により報告)

布施委員長

はい報告が終わりました。この件に関して、委員の方から何か質問等ありますか。西田委員。

西田委員

これ、これまでもずっと浜田市内の市街地のホテルの宿泊者を主にターゲットに神楽上演をされていたと思うんですが、宿泊者に今までタクシーを利用されて行くようにありましたよね、助成しながら、神楽券が半額になるとか、そこの辺の事はどういう事になってます。

布施委員長

観光振興課長。

栗栖課長

タクシーの助成でございますけれども、今これも、実はバスでの運行もしておりました。このタクシーの助成についてもこれがまだはっきり今県との協議というところもございまして、確定と言うところではございませんが、そういった助成制度、そういったものを使ってやって行きたいという方向では今調整をさせていただいております。

布施委員長
西田委員

西田委員。

三宮神社さんのところも駐車場が大変狭いので、今までの定期公演見ても観光客以外にもやはり市民の方が結構多いんですよ、どこで定期公演があっても。多分半々かどうか分かりませんが、そういった意味では駐車の問題があるのでそこをスムーズに、例えばホテルに泊められた方は上演の500円を払っていただけるのであれば、極端に言ったらタクシーは無料くらいでも近いですから良いのではないかなと言うくらいまで思っておりますけれども、どうでしょうか。

布施委員長
栗栖課長

観光振興課長。

今会場を三宮神社という事でやっておりますけれども、先程も申しました様に目的がですね、一つはどこかで確実にやっているよというところの環境整備という事で、それでいろんな所でやっている訳なんですけれども、一つは本当に常設でできる様な場所がある程度確定して来る様な事があれば、それは今度本格的にそこへの誘導という事はありますけれども、まだ今モデル事業という事での実証実験的なものもございまして。そんな中で今のタクシー会社さんの方だとかというところとの調整も必要じゃないかなと思っております、ただ今まだそこまでの確定をするという様なところまでは至っていないという現状でございまして。

布施委員長
牛尾副委員長

牛尾副委員長。

何年か定期公演をずっとやってきて、その総括というものをまだ僕聞いていないんですよ。例えば文化ホールでやった定期公演がどうであったかとか、そういう様なところが披露できれば教えてください。それともう一点、関係者と協議の上定期公演を開催しないこととなったと、確かに神楽の関係者の方お忙しいのでこの事は良く分かります。その事とやはり各地区についての動員がどうであったかという、例えば動員が落ちて来た事と、その例えば神楽の定期公演を少し減らすという、その辺の関係っていうのは、神楽の関係者が忙しいからこの時期控えようという事でいっているんですけど、神楽を見る観客側に立ったそういったデータとかそういったものっていうのはどうなんでしょうか。観光課の方でお持ちなんでしょうか。

布施委員長
栗栖課長

観光振興課長。

浜田で公演をした分については持っております。ただこれを活用して今後どう繋げるかとか、そういった企画面それにつきましては、これ実は県の方でもコンサルを一応入れてそこの辺の調査業務をやっているらしいです。それで今来年度もこうやって定期公演として行いますけれども、その後その総括というのを考えて行こうという様にしております。ただ実際の取組、全体でのこの取組という事になってきますと、この定期公演、これは実行委員会として浜田を中心としてやりますけれども、実はこの誘客活動でありますとかエージェントさんへのコンタクトであるとか、そういったところは県の方でもやっていただいております、そういった意味では連携して今やって

いる状況でございます。それで今総括というところまでは実際にはまだ至っていないというところでございます、これは今からやって行くものでございます。それから各地区の動員という事でございますけれども、これも実は今定期公演ではこの時期は、特に奉納神楽の時期であるとかそういったところは外しております。ただ奉納神楽も観光のツールとしてとらまえる事は出来ますし、以前にはこれは商工会議所さんの主催でしたか、でもやられておりますので、それはまた別の取組と言いますか、いう様なところでは当然考えていきたいと思っております。

布施委員長
牛尾副委員長

牛尾副委員長。

今、後段の件ですけど、それならそれでそういう文言が入った方が分かりやすいんだけど、ただこのペーパーだけを読ませてもらうとですね、気合いを入れてやっていたんだけど、ちょっと後ろ向きに見えるんですよ。ですから本来神楽は宮に行って見るのが一番なんですよ、いつも西田委員が言う様に。だからそういう形で振り分けるとか、そういった様な報告だとずっと入ってくるんだけど、聞かないとそういう言葉が返って来ないという様な、おとといも2泊3日津和野浜田神楽ツアーというのが浜田に入っていました。エージェントがやっているんで、結構入っているんだなと思いましたがけれども、その辺まで全部把握してもらってせつかく報告していただけるので、幅広い正確な情報を是非議会へ提供していただきたいなと思っておりますので今後はよろしくをお願いします。

布施委員長
栗栖課長

観光振興課長。

大変申し訳ありません。確かにそういった全体的なものが今度報告できる様にしていきたいと思っております。

布施委員長
串崎委員

その他、委員の方ないでしょうか。串崎委員。

これは浜田の元気にするためのモデル事業の構成員だと思っております。この構成団体の中に、J FとかJ Aとかが入っておりません。どうしてもこの様に人が集まる場所になれば、そこで特産品を売っても良いという様に感じておりますが、この構成団体にはありませんがその辺のところはどうでしょうか。

布施委員長
栗栖課長

観光振興課長。

確かにおっしゃるとおり、そこでの物販であるとかそういったものも重要だとは思っております。ただ今会場の都合だとかそういった事もございます。これ他の事例なんですけれども、例えば石見神楽の東京大阪公演そういったところでは当然物販とかもさせては頂いております。この物販も非常に重要なところでございまして、神楽グッズもございましてそういった物も含めましてトータルでどうするかというのは、これも今からの、例えば1泊2日の旅行考えたりとかですね、そういった上では当然重要な要素になってきますので、その辺の中で検討はさせていただきたいと思っております。

布施委員長
串崎委員

串崎委員

はい、分かりましたけど、やはりですね今、水産業と農業という事でございますので、この2つの団体をですね取り入れるべきだと私は思います。

布施委員長
笹田委員

笹田委員。

最初の西田さんと全く同じ意見なんですけど、駐車場が無いという事ではなかなか市民の方が行きづらいのも間違いないんですが、25年度は4月から6

月の間、三宮神社の方で実施をされていると書いてありますが、その内容です、どれくらい人が集まったとか分かれば教えてください。

布施委員長
栗栖課長

観光振興課長。

来場者数でございますけれども、4月が366名入っていらっしゃいます。5月が684名、6月が625名という事で全体といたしましては、1,675名の方がいらっしゃっております。あとですねこれも平均なんですけれども先程ありました様にやはり地元の方が多ございまして、市内への宿泊者の皆さんの割合なんです約11%というところでございます。

布施委員長
笹田委員

笹田委員。

先程タクシー乗ってでも行ってもらいたいという気持ちは僕も一緒なんですけど、11%で実施が出ているのに、また同じ所でやるっているのは僕はどうなのかなと思うんですよ。串崎委員も言われましたけどやはり物販うんぬんを考えた場合に、例えばですよ、ゆうひパークでやるだとか駐車場があって人が来やすい様な状況の所でやるのが、同じ常設っていう意味ではよっぽど効果があるのではないかと普通に思うんですけれども、それについて意見がありましたらお願いします。

布施委員長
栗栖課長

観光振興課長。

この会場の件でございますが、これ実は会場を設定するのも非常に苦労したというところでございます。ひとつは以前やっておりました文化ホールさんですね、あそこが丁度この4月から改修等の工事にも入るという事もございましたし、もうひとつは例えばという事で世界こども美術館あそこでも神楽をやっていらっしゃいますから、あそこはどうだろうかとか、候補とすれば色々あったんですけれども、今年度やった時にはやはり本物の神社でやるという事がやはり好評だったという事もございまして、そちらに決定させていただいたというところでございます。

布施委員長

その他、委員の方ないでしょうか。

(委員より「なし」という声あり)

(5) 浜田駅北地区の土地取得計画について

ないようですので、次に行きますけれども、行く前に資料を配付しなさいという事でございますので少々お待ちください。

(差し替え資料を、配付)

今資料を配っておりますけれども、最初に資料を配付したものは間違いという事で、今配っている資料が正式だそうです。配り終えたら始めますので少々お待ちください。

それでは、続きまして、5点目の浜田駅北地区の土地取得計画について、ご報告をお願いいたします。建設整備課長。

河野課長

それでは、浜田駅北地区の土地取得計画について、説明させていただきます。浜田駅周辺のJR山陰本線南北地域を連絡する君市踏切幅を含めた道路整備につきましては、これまでも議会の一般質問にも出ていますし、以前から市長直行便や田町町内会からの陳情を受けているところです。またこの度「元気な浜田」をつくるためのロードマップの中にも魅力ある都市づくりの目的で浜田駅周辺ゾーンの道路交通体系整備を掲げています。この様な状況の中、昨年末に君市踏切の北側の一角で全国農業協同組合連合会、全農さ

んです、それと島根県信用農業協同組合連合会、県信連さん所有の土地、全20筆、総面積4,356㎡について売却する情報をつかみました。この土地につきましては今後の君市踏切拡幅を含めた線路をまたぐ南北道路整備には不可欠の土地であるため、全農、県信連さんと交渉し浜田市土地開発基金にて購入する予定としております。土地を売却する条件として建物が付いたままでの購入となりますが、購入価格は更地評価額より建物解体費を控除する考え方で現在全農さん、県信連さんと協議中でございます。

布施委員長
牛尾博美委員

報告が終わりました。委員の方から何か質問等ありますか。牛尾委員。

最初の用紙もらってびっくりしたんですが、再会とか踏切のところも買うのかと思って、すごい大胆な買収だなと思って、どうなっているのかと思って、後の正しい分もらって安心しました。実を言いますと皆さんご存知の様にあそこに農協さんを中心とした全農の島根県があそこに葬祭会館を建てるという事で、議員の方にも色々、そうした計画とか或いは地元の人のお話も聞いたりして、ここの購入については私は大賛成だと本当に良いなと思っております。特に医療センターについては関連した所なんで、まず医療センターは駐車場が無いと、それからアパートが無いという様な深刻な問題を抱えている中でこの場所を取得する、これを先々どういう様にされるかというのは別にしても良い事だなと思っております。ちょっと課長聞いてみるんですが、左側の君市マンションとの間の空白の所は、これは買えなかったんでしょうか、どういう事でしょうか、お伺いしたいと思います。わかりますか、道路挟んで右左あって、左側の角の下の所が空白でありますよね。

布施委員長
河野課長

建設整備課長。

この絵、先程違った資料出しまして大変失礼しました。この絵で今委員さん言われているのが、細い道路挟んで左側の区画の下の空白の部分かと思うんですが、一応これはですね逆から申しましたら全農さんと県信連さんの土地ではなくて、このお二方の全体の土地がこの表している2区画にあたるという事で、これは他の方の土地なものでこの度のタイミングでは取得という訳にはいかないところです。

布施委員長
牛尾博美委員

牛尾委員。

分かりました。まあ折角ならその左の下の空白部分もあれば良いがなど、地元の人としては医療センターのうんぬんではなくてこの辺一带大事な浜田の中心地なんで是非フランチャイズのファミレスとか、或いはユニクロとかそういう様なものを持ってきていただければという様な話もここの辺の住民の人から聞きましたけども、是非有効活用していただいて折角のチャンスなんで、本当この大事な土地購入には大賛成です。頑張ってください。

布施委員長
牛尾副委員長

その他、委員の方質問ありますでしょうか。牛尾副委員長。

これは金額が確定すると、まさか一般財源で買う訳ではないでしょうし、どういう形で取得をする今計画なんですかね。

布施委員長
河野課長

建設整備課長。

浜田市の土地開発基金を使わせてもらって購入させてもらおうと今内部でも詰めさせてもらって予定しております。

布施委員長
笹田委員

笹田委員。

先程、君市踏み力の事もありましたけれども、これかなり広い土地じゃないかなと思うんですが、結構の価格がすると思うんですが、これ更地にした

布施委員長
河野課長

後に浜田市として何かする計画があるんですか、先程ユニクロ等々あったんですけど、今何かしら考えている事があれば。

建設整備課長。

まず道路整備という話をさせてもらったんですが、少し前から話しますと君市踏切の拡幅につままして色々ちょっとJRの方とも色々話をさせてもらっている部分もあるんですが、現実には高低差、軌道と周辺の道路と敷地と高低差がありましてそれを構造上スムーズにするには、今大学線からおりて来てまっすぐ突き当たる部分に踏切を移設した方が構造的にも作りやすいというJRさんからの意見もありまして、そういった計画をにらみますと、今この二つのかなり広い場所なんですけど、これを当然道路用地として今から線形といいますか道路の詳細設計をやっていく訳なんですけど、この中で主体に考えさせてもらって、あとの残地につまましては当然この改良するときには今のJRの線路の南側になりますね、琵琶町側の田町側の方の高さを変える時に、道路を下げるという事は周辺の民地と言いますか、区画もちょっと触る可能性がかなりありますので、そういった今後詳細をやってみないと具体的にどここの辺まで影響があるというのが言えないんですけど、そういった代替地の候補としても考えなくてはいけないという様にも考えておりますし、その他の土地につまましては有効活用というのは当然なんですけど、今具体的には決められていない状況でございます。

布施委員長
牛尾副委員長

牛尾副委員長。

ちょっと思い出した事があって確認をしておきたいんですが、かつてこの南北を渡る道路を作って欲しいという要望が会議所中心として上がった時に、当時の市長はお金がかかりすぎると言って自由通路を相当な負担をして作った訳ですね。ですから私もその時陳情に同行しましたので憶えているんですけども、政策として当時は金額がかかりすぎるから断念したと、40億前後と言われたと、それでよく考えなければいけないのは、しかしお金がかかりすぎるから自由通路を十数億かけて作ってますよね、前後をJRに出して、だからこの辺の関連の総コストとね、本当に望ましいのは南北を渡る道路が良いんだという事を陳情したんだけど出来なかったと、お金がかかるから。それで10年、15年、20年経ってなんだかんだ言いながらも結局総コストが随分掛かったよという事になった時に、やはりその時点の判断が良いとか悪いとかという事もあるんだろうけど、総括する必要があるって今思ったんですよ。あの時に陳情に行った時にそんなに掛かるんなら、本当は当時の市長も南北を渡れる道路、それで緊急車両もそれが良いという様な事で、しかしお金が掛かるからやれんわあなという事で断念をしたんだけど、少しずつ時間が経ってみると、こうやってあちこち取得してやっていくという、それで結果的にすごいコストが掛かる様であれば当初計画のその道路の方がトータルで言えばコスト的に掛からなかったという、例えば何十年経った結果として出て来るんだろうけど、そういう事ってやはり行政としてちゃんととらまえないといけないなと思うんですよ。ふっと思ったんだけど、そんな事今の部長さんに言っても仕方ないんですけど。やはりそういう事ってあると思うんですよ、今後も公共事業は。例えば20年、30年のコストを考えた時に少し掛かってもそこをやるべきだという判断があった時にはやるべきという、そういう何か。これが掛かるかどうか分からないけど、そういう事も同時に

やはり税金を使って事業をする訳ですから考えなければいけないんじゃないかなと、ふっと今思ったもんでね。陳情に同行した手前、一応意見として言っておきます。

布施委員長

答弁は結構だそうですので、その他、委員の方いいですか。
(委員より「なし」という声あり)

(6) その他

それでは、その他ないようですので、続きまして、6点目、その他として、執行部の方から他に何かありますでしょうか。農林課長。

砂川課長

それでは、先般にほんばし島根館におきまして、ミクニマルシェフェアを開催いたしましたので、それについてご報告をさせていただきます。

(以下、資料により報告)

布施委員長

この件に関しまして、委員の方から何かありますか。牛尾委員。

牛尾博美委員

課長、今44品目って言った。これは継続して置くんですか。

布施委員長

農林課長。

砂川課長

今回持って行った物は、スポットで持って行った物でございまして、にほんばし島根館にその中で常設してある物も数品目、ちょっとはつきり憶えておりませんが、数品目はございまして併せてやらせていただいておりますが、あくまでも今回のこのフェア用に用意していただいた商品でございます。

布施委員長

牛尾委員。

牛尾博美委員

この島根館、何回も僕行くんですけど、このせつかく44品目やったんならずっと継続して置いてほしいがなと思った。何でか言うと浜田の品物が無いんですよ。それで今農林、水産課長なんかもよく聞いてほしい。それから観光振興の方もそうですが、浜田の商店の人たちに、商工会議所通じてでも良いですが、あそこにもっと商品置いてほしいんですよ。浜田の品物ほとんど無いんですよ。本当に残念だけど。それで買いたいと思っても浜田出身の人もまごまごしているんですよ。カレイとかノドグロ買おうと思ったら、みんな松江とか出雲の商品になっているんですよ。そういう事で是非もう一回このミクニマルシェの商品の一つのきっかけにしながら、あのスペースを浜田のもんで埋めて欲しいと僕はちょっと思っているんですけど、もう一回ね喚起しながらひとつその辺りどう思われるかお伺いしたいんですけど。

布施委員長

農林課長。

砂川課長

今、委員おっしゃいましたとおりで、島根館に置いてある商品の多くは島根県東部、出雲部の商品が多ございまして、石見部の商品は非常に少ない状況でございます。ただ浜田の水産加工品なんかもいくらか置いてありまして、今回特に非常に好評だったのはやはりノドグロの干物とかですねカレイの一夜干し等は非常に好評でございました。こういう商品は既に定番で置いておられる訳でして、今ありましたこれからのこの浜田の皆さんへの呼びかけでございますが、毎年島根館はですね浜田にもお越しいただいて商談会という商品提案会もしていただいております。ただやはり色々な条件、手数料の事とか、また輸送の事等がありまして、特に賞味期限が短い様な物は非常に難しいという事は聞いておりますが、更にこういう商談会、浜田産業振興機構とか特に中心にやっておりますが、そういう事をやられる時は商工会議所なりを通じてもっと地元の企業さんにもPRしながら、アンテナショップと

して有効活用していただける様に努めて行ければと思っております。

布施委員長
牛尾博美委員

牛尾委員。

もっと県の方に言ってですね、浜田のブースをもっと広げてもらうとかですね、それから今手数料の話されましたがね、そういうところこそね浜田が助成してですね積極的に業者の人、この浜田市全体の自治区も含めて、全体のいわゆる農産物も含めたそういう方々にPRしてですね、出さんかというアプローチをして、せっかくなら、ほとんど無いんですよ、残念ながら、皆さん東京行かれたら寄られたら良いんですが、残念ですよ。そういう面ではしっかり各課が連携して是非そういうブースを置くなりして、県の方に申し込んでがんばって浜田のいわゆる東京にいる人が浜田の品物が買える様なそういう取組をしていただければと思います。

布施委員長
牛尾副委員長

牛尾副委員長。

今、丁度良いご意見出ましたので併せて言っておきますけど、やはり島根館の館長さんは県西部の商品が少ないのは、やはり手数料だろうねと、手数料がネックという事ですね。そういう中でも数社出品をされているので、出そうと思えば出せるんだけど手数料が高いから島根館で売るよりよそで売った方が良いという、そういった業者がいらっしゃるんです。だからそれをどうやってクリアするかという事と、問題は僕一般質問でも言いましたが、3月から宅急便の運賃随分上がったんですね、改定があつて、それでなかなか1社独占なんで東京方面は宅急便ですよ、なかなか高くて難しいんだという、販路開拓を行政がしてもらうのは良いんだけど、販路開拓と併せていわゆる運賃改革をしてもらわないと、なかなか浜田、西部の物を送れないんだという、そういった話も聞いているんですよ。ですから例えば出荷については協業化しながら抱き合わせで1社送れば運賃が安くなるとか、そういうやはり指導もしてあげて、それに地元の、例の釜山の混載と一緒にですよ、でかいやつにいろんな商品を詰め合わせて単価を下げるといふ、そういう様な事を示してあげないと、手数料は掛かる、高すぎる、運賃も高くなったという事で、売りたいけど売れないんだという現状があるんですね。その辺は少し実際出せる様な形で、今同僚委員から話があつたので、障害を取り除いていただければ、恐らくそこへ並ぶと思うので、是非その辺の難しいところを行政の方で支援を是非していただきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

布施委員長

その他ないでしょうか。

(委員より「なし」という声あり)

ないようでしたら、その他の報告事項ありますでしょうか。建築住宅課長。

佐々木課長

市営住宅の駐車場整備と使用料の徴収に係る方針について、説明させていただきます。県内の県営住宅をはじめ多くの他市では、市営住宅で駐車場の使用料の徴収を始めています。しかし浜田市では駐車場の整備が不十分な団地が多かったため使用料を徴収する事なく市営住宅の敷地を入居者の利便性を図るために自動車の保管場所とする事での使用を認めてきていました。現在既存住宅の長浜、熱田、城ヶ平住宅を集約しまして長浜西住宅80戸の建設が進行中です。平成27年4月からは駐車場の整備された団地として供用開始する予定となっています。そこで1番に記載しています様に現状と課題、問題点を整理しまして、2番の方針にあります様に、要望される駐車場の整備

をして行くとともに、整備を終えた住宅から駐車場の使用料の徴収を開始して、市有財産である駐車場の適正な管理をして行く事にしました。駐車場という市有財産を適正に管理するという事で、例えば同じ団地内の入居者で駐車場を使用している方とそうでない方との不公平感が無くなる事とか、隣接します県営住宅と併用して建っている団地なある訳ですが、そこでの入居者との公平性が確保される事になってきます。今後の予定としましては、社会資本整備金を活用しまして駐車場整備をして行きたいと考えています。使用料の徴収開始前に各団地の入居者へ説明周知を行って、駐車場管理組合などの設置の準備などがありますので、徴収開始は平成28年度以降をして予定しています。2枚目に一覧表を付けていますが、長浜西住宅供用開始時点の状況として徴収対象団地の一覧を挙げています。必要な整備が完了した物から、表の下段のところにも表していますが、使用料の徴収をする考え方をまとめています。使用料金は徴収開始に合わせて検討中でございます。

布施委員長

この件につきまして委員の方から質問等がありましたら、
(委員より「なし」という声あり)

その他、報告事項ありますでしょうか。建築住宅課長。

佐々木課長

資料は無いので申し訳ないんですが、行方不明者に対する市営住宅の明渡し
の状況について、報告します。25年の9月議会で黒川改良住宅の明渡しと
いう事で、訴えの提起をいたしました。議決を受けました後に、10月1日に
松江地方裁判所浜田支所へ提起した行方不明者に対する市営住宅の明渡し請
求について強制執行が実施されまして、住宅の明渡しが完了しましたので報
告します。住宅内の家財等の廃棄処分を終えまして、3月末頃にきれいな空
き住宅となる予定です。

布施委員長

報告終わりました。この件につきまして委員の方から質問等ありますで
しょうか。

(委員より「なし」という声あり)

ないようですので、以上で執行部報告事項は終了します。

つぎ行きます前にちょっと時間経過しておりますので休憩を取りたいと思
います。前の時計で25分まで休憩入ります。

《 11 時 13 分 休憩 》

《 11 時 24 分 再開 》

7. 所管事務調査

(1) ゆうひパーク浜田の中庭のコンセプトについて

それでは、休憩前に引き続き会議を再開いたします。

議題7. 所管事務調査を議題とします。

まず、1点目のゆうひパーク浜田の中庭のコンセプトについて、執行部よ
り、ご説明をお願いいたします。産業経済部次長。

江木次長

それでは、ゆうひパーク浜田の中庭のコンセプトについて、ご説明させ
ていただきます。例年団体客、バスツアーが減少し個人での旅行が増加し
ており、今までにない価値を作って行かなければならないという事で、ゆ
うひパーク浜田の強みでありますロケーションを最大限活用した空間、ス

ペースを作り、非日常である空間を提供するとともに、単なる道の駅ではなく通過型から着地型の施設への転換を目指すという事があります。そしてその一つとして中庭を緑化する事によりまして、癒し憩いの空間整備、浜田の自然をコンセプトにした、浜田の浜に打ち上げられた流木等を使ったオブジェや木製ベンチを設置してくつろげる空間を演出をされておられます。お配りしております資料の一番最後にあります様に、山陰経済ウィークリーにあります様に、木戸社長が滞在時間を延ばして土産物や飲食の売り上げ増に繋げたいという様にお聞きしました。

布施委員長

只今説明が終わりました。委員の方から何か質問がありますか。牛尾委員。

牛尾博美委員

これよく行く場所なんで、ちょっと気になる場所なんで、この事についてちょっと資料取り寄せていただきたいという事をお願いしたんですけども、実を言うとくつろぎとか滞在とかという言葉は非常に羅列して良いんですけど、実際行ってみると、今まだ芝生が付いてないっていうのももちろん分かるんですけども、滞在できないですね、ゆっくりね。もともとキャパが小さいあの広場にマウンドを作って、障がい者が行けないですよ、まず。障がい者が右回りをと言うか、今この写真にある、あれが真ん中なんだけど、まだまだいわゆるレンガ敷きつめてあった時はまだ良いんですけど、障がい者とか人がこのマウンドを通って行かずに右の建物の屋根の下って言うのか通路みたいな所を通るんですよ。そこにはブランコも置いてある。ブランコ動かすと危ない。そういう事もあったりするんですけど、これですね僕ちょっと確かにそういう考え方って言うのはもう分かるんだけど、もしもっとキャパが広いなら良いんですけど、非常に真ん中が中庭が狭い中でこれで良いんだろうか、そして木にも触ってはいけないと書いてあるんですね。もちろんそうかも分かりませんが、これある程度完成したら木にさばられるんでしょうか、子供は。あと障害者が導線として奥へ行く、食べ物行くのに障がい者どういう形で行くのかなっていう様に思ったりするんですが、ちょっと分かればどうでしょうか。

布施委員長
江木次長

産業経済部次長。

私も行って看板掛けてあって、触ってはいけませんという様に書いてあるので、子どもがぶら下がってもいけないんじゃないかと思います。それで今ご指摘のありました障がい者うんぬんにつきましては、これで直ぐまた工事をお金をかけて出来るかどうかどうか、ちょっとありますけれども、ご意見としてゆうひパークの方には伝えてはおきたいと思います。

布施委員長
中村部長

産業経済部長。

私もここ一度訪れたんですけども、その時にはもうかなり人がここにおられて、実際このモニュメントなんですけど、ブランコもあるんですよ。ブランコもあって、人が乗っかって、女性の方が私が行った時には乗っかって、もう木なんかも触って、多分私の記憶違いだったら申し訳ないんですけど、登ってはいけないと、皆さん触れられてました、実際その木は。もう色々な所で触られていました。ただそこを登ってはいけないって書いてあった様な気がします。すみません間違えていたらごめんなさい。皆さん触っておられました、実際に。それで確かに委員さんおっしゃる様に車椅子とか、我々行ったとき丁度地面湿っていたので、置き石もありますの

で、歩いて行く分には置き石またいで行ったり、歩いて行ったりしたんですが、その芝生の上も歩いておられる方何人もおられたんですが、実際車椅子とかそういった場合にどういった導線を選ばれるかっていったらやはり右端の建物の横を選ばれるのかなと今感じましたので、そういったご意見もお伝えしながら、今出来たばかりでまだ今から芝生も青くなってきますので、今からちょっと夏にかけてとか様子も見てみる必要もあるのかなと思っておりますので、どうもありがとうございました。

布施委員長
牛尾博美委員

牛尾委員。

私も1週間に3日も4日も、4回も5回も行く所なんでね、大事な所なんで是非沢山の人に来ていただきたいという施設なんですけど。国交省これOKしたんですか。それだけちょっと聞いておきたい。OKだからやったんでしょね。

布施委員長
中村部長

産業経済部長。

そこは計画もおそらくお話されてOKはされているはずですが。実際あそこの中の区割りと言うのはちょっと複雑な部分があるんですけども、広場とかというの全体として、トイレ部分は実際に国交省が持っておられますから手前の部分、その広場のところがどういうちょっと所で使用管理、どういう様にされているかというの分かりませんが、これまでも多目的ステージが出来てたり、ゆうひパークの方である程度裁量があるのではないかなという様な事は今思っているところでございますが、それはまた確認させてください。

布施委員長
牛尾博美委員

牛尾委員。

あそこで定期的に神楽公演やっていたんよ。第一第三とか第二第四とかね、これはここにこういうものが出来るとステージはそのままあるんだけど、公演は引継いでやるのかどうか、どうですか。

布施委員長
中村部長

産業経済部長。

一応あそこは石見神楽も定期というか何度かやられていますけれども、あと中学校の方のブラスバンドとかいろんな催しもされております。それでステージ自体残ってましてあの周りも非常にくつろげるスペース作られておるんで、おそらく何らかの形でされるのではないかとおは思っておりますが、それもまた伺ってみたいと思っております。

布施委員長
西田委員

その他、委員の方質問等ありますでしょうけ。西田委員。

工事中に私も見させていただいた事があるんですが、随分今までのイメージからしたらちょっと斬新で、これはどなたが設計されたんかな、デザイナーさんかな、どういうコンセプトと言いますか、原作がどうなっているんかなというところで、普通一般的にいろんな人が見て、ああこれは触っちゃいけない、どうだこうだという議論よりも、それを設計、デザインされた人のコンセプト、原作論がどういう事でこれをされたんか、もしデザイナーさんとか有名な方にお問い合わせされたんなら、そういう方のどういう思いでこれがあるんだよという事をちゃんと表面に出されて、それで訪れた方々に、ここの中庭はこういうコンセプトでこういう事なんですよという事をちゃんと出した方が良くと思います。どうでしょうか。

布施委員長
江木次長

産業経済部次長。

大変申し訳ありません。その設計が誰がしたのかという事をちょっと聞

いていないもので、今委員さん言われます様に、その表明と言いますか有名な方であれば、どなたがしたとかいう分についてゆうひパークの方に提案をしてみたいと思います。

布施委員長
牛尾副委員長

牛尾副委員長。

浜田市の出資もわずかですから、浜田市があれこれ口を挟む様な余地はほとんど無いんだろうなと思うんですけど、実はここの駅長は地元の県立大学のOBでございまして、2月の初めに市長囲む懇談会で会議所の観光部会のメンバーとして浜田の観光、将来どうあるべきかというプレゼンをいたしました。素晴らしいプレゼンをしました。そのおりに聞いた話だとどうも12、1はゆうひパークは対前年を上回った様な話をちらっと聞いたんですね。ですから経営革新は進んでいるんだという様な話を聞いたんですが、その辺の確認を市の方はしておられますか。

布施委員長
江木次長
布施委員長
牛尾副委員長

産業経済部次長。

その辺りについても、申し訳ありませんまだ確認はしておりません。

牛尾副委員長。

まだ、あと返済も残ってますし、確かに周辺皆落ちてはいるんだけど、駅長が言うには頑張ってますという事でしたので、それは良かったなという事で、ただ私も年末にあそこで宴会をして降りたら、何であそこに岩があるのかなと思って、まあ酔っていたせいもあるんですけど、ちょっとメンバー20人位いたんですけど、違和感は感じました。だけど売上が伸びているのであればそれはそれで浜田市へ返済義務ある訳だから伸ばしてもらうのはそれはそれで良いんだろうなという事で、非常に複雑な心境だったんです。ただ地元の大学を卒業した若い子が駅長になって頑張ってる今売上が頑張っているという事で非常に見守ってやるべきだろうなと思っておりますが、皆さん色々心配をしておられるのでその辺の心配を払拭される様な事をひとつ担当部においてはよろしく願います。

布施委員長

ただいまの西田委員と牛尾委員のコンセプトとか今の売上とか調べて、また報告するという次長の答弁があったんですが、また所管事務調査ですので今回は、またそういう資料が整ったらまた委員会に示していただきたいと思います。

その他委員の方、ないでしょうか。

(委員より「なし」という声あり)

(2) 一般社団法人浜田市観光協会の設立について

(3) 国民宿舎千畳苑の営業状況と今後の方向性について

(4) 浜田城内の古木について

(5) 浜田城の天守について

ないようですので、続きまして、2点目の一般社団法人浜田市観光協会の設立について、から5点目の浜田城の天守について、までの4件を一括して執行部より、ご説明をお願いいたします。観光振興課長。

栗栖課長

それではまず1点目、一般社団法人浜田市観光協会の設立についてという事でございます。これは昨年12月12日に行われましたこの同委員会においても、途中の経過報告という事で申し上げました。ですので詳しくは申し

ませんけれども、これまでの経過というところはその時のままでございます。

(以下、資料により説明)

また併せまして、観光協会の事などでございますけれども、前事務局長さんが2月28日、2月末をもって一応退職となったという事で聞いております。これについては、会長の方と何回も協議をされこういった事になったという様には伺っております。一つには報告であるとか、そういったものがやはりちょっと希薄であったという様な事もお伺いしておりますが、最終的にはそういった事で会長との協議の結果、退職という事になったという様に伺っているところでございます。

布施委員長
中村部長

産業経済部長。

観光協会の事、今、ちょっと1点、この後まだ報告続くんですが、観光協会の事で、前事務局長の件で、先般笹田議員さんからもご質問いただいて、解雇という事の様だがという事で、ちょっと誤解があってもいけないので補足説明させていただきます。岩谷会頭とずっと協議をされまして、観光協会の取組に対して理事長である岩谷会頭とかそういった理事の方への報告ですとか連絡ですとかそういったものがちょっと欠如しているのではないかという事で、事務局長と理事長とかなり具体的に突っ込んだ話もされてですね、そういった理事長の方針ですとか理事会の方針ですとか今までの支所、本部との関わり方ですとか、事務の運営の仕方、また市民サロンの運営の仕方等についても色々意見交換もされた結果ですね、それじゃ今度の一般社団法人化に向けた、4月1日からに向けたところで、今の全職員については一応退職という事になりますので、それをもって局長も自分も含めてそれでは退職という事にしますという事でお話があったそうですが、その話合いの中で今度4月29日にまつりがありますので、春まつりもうスタートしておりますので、できれば局長についてはそれでは出来るだけ早く退職して次の体制でやった方が良くだろうという事で2月28日をもって退職になった様です。それからまたその退職のところで、ご本人からの要望もあったんですが、これは会社都合という事で解雇という事をお願いしたいという事で、というのが会社都合という事になりますと雇用の保険ですとか、そういった失業保険の関係なんかが直ぐに支給されるような事もおっしゃいまして、そうしましたら会社の都合という事で、それじゃ2月28日をもって退職という事になったという事でございますので、その点大変申し訳ございませんが誤解のない様をお願いいたします。

布施委員長
栗栖課長

それでは続けて報告事項してくださいませ。

続きまして、2点目、国民宿舎千畳苑の営業状況と今後の方向性について、という事でございます。これはご存知のとおり前回のマーチャントバンカーズ株式会社からこの25年度からはFunSpace（ファンスペース）という会社に指定管理者が変わっております。

(以下、資料により説明)

続きまして、浜田城内の古木について、という事でございます。

(以下、資料により説明)

それから、最後でございますが、浜田城の天守について、という事でございます。

(以下、資料により説明)

布施委員長

以上4件報告がありました。委員の方から何か質問がありますか。笹田委員。

笹田委員

観光協会についてなんですけれども、所管事務調査で私がお聞きしたいんですけれども、今回一般社団法人に移行されるという事で、何点か聞きたいんですけれども、本日から新法人職員募集という事で、これ何名位募集されるのかと募集方法ですね。それで先程の部長の答弁の中で、一旦全員辞められて新たに生まれ変わった時に採用するという事なんですけれども、今現時点での職員の方の処遇ですね、今後どうなっていくのかと、あと事務局長が辞められて会社的な解雇という事なんですけど、この時期に辞められるというのは組織として進んで行く上では大変難しい部分があったんじゃないかなと思うんですが、今後の事務局長の在り方等々分かれば、これ皆さんご存じのとおり岡山県から公募して来られた事務局長さんなんで、その事務局長さんが途中で辞められて帰られるっていうのは、私としてもとても寂しい事ですし、今後公募というやり方になるとちょっと浜田市に対する見方じゃないですけれども、途中で辞められると何か原因あるんじゃないかなという様に思われる可能性もありますので、その辺の考え方をお願いいたします。

布施委員長
栗栖課長

観光振興課長。

まず1点目の募集何名かという事でございますけれども、今募集されておりますのは、全部で4名になります。それと先程申しました様にひとつは市からも一応派遣を予定しておりまして、その方が加わるという事がございます。それから現時点の職員さんという事でございますが、一応法人と言いますか団体としては全く別の組織という事になりますので、いずれにしても一旦はそこで解散という事になりますので、その後新法人、これはですね今現在のお勤めの方もそうなんですけれども、一応ハローワーク等を通じて募集はします。それでももちろんその中で続けてやりたいと意向をお持ちでございましたら応募していただいて、もちろんこれ面接等も新しい理事さんによって行われると思いますけれども、そういった中で選考が行われるものと思っております。それからこの途中での現局長さんの退職という事でございますが、これにつきましては現在、今事務局次長としていらっしゃる方に当面の間代理としてやって欲しいという事を会長の方から申されておりまして、その中で進められる事になろうかと思っておりますが、当然私たちもそこには人が一人減る訳でもございますし十分関わりをもって進めて行きたいと思っております。現在も今そう行った事で、特に来年度どうするかという様な事も一緒になって協議もしているところでございますので、そこにつきましては全面的に我々の方も協力して今進めているというところでございます。

布施委員長
笹田委員

笹田委員。

はい分かりました。去年ちょっと色々問題がありましてどうなるのかなと心配しておりましたけれども、この付帯意見ですか提出された付帯意見の中の1、2、3ですね、内部統制のとれた組織機能へ移行を図る事等3つ在りますけれども、やはりこれしっかり目指していただいて浜田の観光担う様な組織になる様にお手伝いして頂きたいと思っておりますので、今後とも尽力していただく事を要望します。

布施委員長
牛尾副委員長

その他、委員の方質問等在りますでしょうか。牛尾副委員長。

所管事務調査で3件通告をしておりますので、資料提供ありがとうございます。どうも千畳苑色々頑張られておられる様で、少し安心をいたしました。このFunSpace株式会社へ行かれた事がございますか。所在地にありましたか。

布施委員長
中村部長

産業経済部長。

私、3度東京の方向っておりますが、非常に良い会社であるという印象をもっております。

布施委員長
牛尾副委員長

牛尾副委員長。

会社はその住所にあるという事を確認をしまして安心いたしました。前回そういう事が無かった様な事もありましたので、一番気にしておりましたが、非常に前向きな企業という様に聞いておりました。実は安心しております。多分おそらく26年度はもっと数字が伸びるという様な今話も聞いておりますので、ひとまず安心をいたしました。続いて浜田城内の古木について資料ありがとうございます。市長が言っている様に浜田城の整備含めて浜田城内を歩ける様にしたいという様な気持ちがある中で、やはり我々があの中に、でかい木があるんだけどどんな木かというのはやはり確認をしていないという事もある。やはり今回、23年におやりになったんだけど、あと全然やって無いんですね。ですからこういう事は、まあどこがやるかという事もあるんですけど、やはり定期的にこういう浜田城をよく市民は知るという事を仕掛けをして行かなければいけないと思いますし、観光ボランティアガイドの会もあるんですけど、やはり外からのお客さんにどこを見せるかというところでは、少し欠けているという様に言われるので、浜田城の天守跡も含めていろんな素晴らしい所が残っているんで、ひとつあの中を歩ける様な、散策できる様なルートをやはり、どこがやるかっていうのもあるんだろうけど、やはり観光課長サイドでそういう事のひとつルートも含めて、ストーリーも含めて是非作っていただく様にお願いします。結局その開府400年が2019年ですからそれに向かってその浜田城をどうやって位置づけるか、スポットを当てるかという大きな指名が観光課にも今課せられていると思うんですね。あとで天守の話もあるんだけど、結局併せて話をしますけど僕らも浜田城はですね天守まで燃えたというのを、ほんの数年前まで信じておりました。ただ藤井宗雄の、幕末の国学者ですけど、日記に書いてあるという様な事で、天守は燃えていなかったんだらうなという様に我々も確認しておりました。藤井宗雄さんの前後の日記を読むと史実と合致するので、この日の日記は間違っていないだろうという様な判定をしたという様な話を伝え聞いたんで、ああそういう事なんかなという事で、何十年間に渡って最後の藩主が自ら天守に火を付けて、自焼退城したという話をずっと信じてましたので、ある面寂しいなという浜田市の最後の浜田藩の歴史を持ってましたが、そうではなかったという事で安心したんですが、市民の大方の方は、藩主は最後火を付けて逃げたんでと、そういう様に思っておられるので、その辺の史実を史実としてちゃんと伝えるという事が大事なんだろうなと思っております。それで問題はその開府400年が2019年なんですが、自焼退城という事で140年を2008年に津山藩、浜田藩ゆかりの方に来てもらって浜田でやっているん

ですね。今度自焼退城おそらく150周年っていうのがあると思うんだけど、これ開府400年の前年の2018年なんです。ですからその辺に向かってやはり市長もやると言っているんで、この辺の話をもとめていただいて、歴代の藩主のご縁、例えば棚倉であるとか館林であるとか、松阪も当然ある訳ですけど、そういった縁も繋ぎながらですねやはり浜田城開府された時から落城までの歴史をちゃんと、資料もチェックしながら的確なものを市民向け、観光客向けに作る必要があるんだろうなと思うんですね。その辺について今後どの様におやりになるろうとしているのか、お考えを承っておきたいと思います。

布施委員長
栗栖課長

観光振興課長。

この開府400年に向けましては、まず一つは委員おっしゃるとおり歴史の部分をしっかりさせようという事で、これ市長の方も申されております。その部分ともう一つはそれに向けての例えばイベントであるとか、それをどう構成するかという様な、これはまだイメージの段階だそうでございますけれども、ひとつはそういったプロジェクトチーム的なものを作って全体で検討していくと、その中の分科会といいますか、そういった中で先程申しました様に歴史は歴史の方でしっかりつめていただいたりとかですね、イベントの方ではこういったイベントをやって行くかというところをこれからやって行く予定になっております。その中でそのイベントにつきましてもその周辺整備というところの進捗状況、そういったものも併せて行かなくてははいけませんけれども、先程ありました様な散策のルートそういった事もそうでございますし、その浜田藩、最初の古田公から始まりまして先程自焼退城されたまでのいろんな藩主代わっておりますけれども、当然そういったところも関わりがございますので、それをどういった様に、例えばイベントでどういう様にこれを繋げて見せて行くかとかですね、そういったところもちよっと今後検討はしていきたいと思っております。もちろん歴史というところではその辺はしっかり押さえておきたいと思っております。

布施委員長
牛尾副委員長

牛尾副委員長。

まだ組織図が最終日の全協で示されるんで分からないんで何とも言えないんですけど、かつては美作濱田会の関係、岡山、津山の関係ですね、津山の関係は教育委員会が所管をして何度か訪問をした様な記憶があるんですね。今度は観光、歴史、まあ歴史観光という言葉もあるんですけど、今度からの仕掛けは、やはり経済部、観光課が主になって今度やって行くのか、教育委員会と連携をしてやって行くのかっていうのはちょっとまだ分からない。まあこれからそういう様な方向を探るっていう事なのかも分からないんですけど、どういう方向でおやりになるかというのがちょっと見えてこないんですよ。それは良いとか悪いとか言うのではなくて、ただそれをやはり早く示していただいた方が、開府400年に向かってはそういった歴史面、文化面も含めて所管は経済部であると、それで教育委員会からも色々情報ももらってという事なのか、どういう様になるんですかね。

布施委員長
中村部長

産業経済部長。

今の歴史の件ですが、これが150年となる訳でございますが2018年に、この時に今までの交流は浜田城を退場されて津山に行ったとそれと前の殿様は福島県の棚倉行かれて川越に行かれたという事で、それぞれ今なお津山

では毎年4月の第一日曜日だったと思いますが供養されている、ずっともう百四十何年に渡って供養されております。それがまだ連綿と続いております。その方々は浜田に墓参りに来られておりますし、川越からも4年に1度墓参りに来られる。棚倉からも関係のある方は墓参りに来られるという事で、今度の久保田市長の言われる歴史とか教育とか観光とかという枠を超えてですね交流人口の拡大という点を非常に力を入れて行こうという事で我々も観光も、観光交流課という事で名称を変えさせていただこうと思っております。そういう面ではこの事業についてはただ単に教育委員会の文化歴史ですよという事ではなしに、産業経済部としても本当に重要なイベントとして大きく強く深く関わって行く必要があると考えております。

布施委員長
牛尾副委員長

牛尾副委員長。

12時回りしましたので終わりたいと思いますが、実は僕も津山は何回も行っているんですけど、最近山陰中央新報社がシリーズで書いてますが、西御殿とか岸静江の弟の墓参りには行った事があるんですけど、その藩主の末えいの方の墓石が、全てが浜田を向かっているという写真を見た時に、実は何回も行っているんですけどそこへ行った事が無かったんですよ。それで初めて行った時に末えいの方が、まあ浜田市の職員の中で神楽同好会ありますけど、神楽同好会の二軍を連れて行って神楽を見せた時に、死ぬまでに見れると思わなかったと言ってすごく感激をされたんですけど。そういう最初の出会ひもあったんですけど、観光交流課でおやりになるという事ですけど、全ての関わりのあった藩をね、どうしても幕末の所に目が行くんですけども、松阪もそうだけど、色んな藩の方に、末えいの方に参画してもらって、この浜田城の歴史も一つの観光誘客のツールとしてね、やはりちゃんとして打ち立てて是非いただきたいと思っておりますので、年数あと5年ぐらいしか無いので、励んでいただく様によろしく申し上げます。

布施委員長
笹田委員

委員の方、その他ないでしょうか。笹田委員。

浜田城内の古木についてなんですけど、多分これ知っておられると思うんですが、このおそらく、市民からちょっと情報がありまして、水害があった時にちょっと登って見たんですけども、おそらくこれ6、7、8かどれか、8、9ですね、8、9のどれかが倒れているんじゃないかと思うんです。相当城山の周りも被害があったので、おそらく、僕が確認した時もこの1本は撤去されていまして無くなっているとは思いますが、やはり牛尾委員が言われた様に開府400年に向けて城を皆さんに見てもらおうと来ようと言うのであれば、やはりどこがするのかは別にしてやはり情報を把握して市民の人も、散歩される方もいらっしゃるの、改めて再認識してもらい意味ではやはり大切な事だと思っておりますので、そういう状況を把握されているかどうか1点だけ。

布施委員長
栗栖課長

観光振興課長。

私の方では、倒れているというところまでは実際には確認をしておりませんでした。申し訳ありません。ただおっしゃるとおり今後整備を進める上では、その観光でいらっしゃる方はもちろんですが、今でも浜田城、特に桜の時期とか市民のある程度憩いの場という位置づけもございまして、その辺両面併せて、もちろん関係部署との協議も必要ですけども連携して取組んで参りたいと思っております。

布施委員長
西田委員

その他、西田委員。

12時は回っていますけども、どうしても、先程からやりとり聞いてましたら、どうしても言いたくなって参りましたので、なんです。浜田城周辺の整備についてですけれども、この整備するのに、ここで行政と議会との委員会のやり取りをずっとやってましても、最終的にどういう整備をするかという事になっても、浜田城周辺の整備をするとなると、大変なお金がかかると思います。執行部がいろんな計画を立てられても、いずれにしても問題となるのは財政的な事になると思います。先程から交流人口を増やすと言う事もありますけども、これは市の方と観光ボランティアの会とか、或いはこの浜田城期成同盟会とかそういった団体が一緒になって連携して、ある程度いろんな計画は立てられても、整備計画をたてられてデザインされた中で、やはりこれ実際に市民の方皆さんに喚起していただいて、これ開府400年に向けて、そこを丁度最終目標にこれから計画的に市民の皆さんが定期的にあそこに集まってみんなで汗かいて少しずつ草を刈るとか、或いは干ばつをするとか、整備を市民のみんなが汗かいてやると、それを少しずつ積み重ねながら形が見えて来て、それで最終的には開府400年のところで皆さんがああここまで来た、みんなの力でここまで来た、できるだけ予算は使わなくてもやればできると思うんですよ、気持ち次第で。浜田城はこれ浜田のすごい一番の中心的な資源でしょ、お宝ですから、それを活かすのは、執行部がやる訳ではない、これみな市民がみんなでやる訳なんです。だから市民の皆さんに喚起してみんなでこれを、浜田城をお金を使わなくてやりましょうという、そういう音頭取りをしていただきたいという様に思います。これを本当にされると、やればやるだけ皆さんのやりがいも出て来るし、市民の皆さんも日々の生活の中で時間のある方もおられるし、生活目標どうしようかなという方もおられると思います。そういう方には是非参加していただいて、一緒に汗かいて、開府400年に向けてやりましょうと、そういう事を積極的に是非やっていただきたいと、絶対これはできると思います。そうする浜田市民のそういった方々が沢山おられるという事に、外部からの交流人口が増えるんですよ。浜田城をお金かけて整備したからと言ってそれを魅力と思って外から来るんじゃないで、浜田城をここまでされた市民がいるから、その市民に会いに来られるという様に思います。よろしく願います。

布施委員長

今、西田委員の熱い質問がありました。何か答弁ありますか。観光振興課長。

栗栖課長

その点につきましては、まさしく委員さんのおっしゃるとおりだと思っております。ここの枝払いでありますとか、草刈り、これはボランティアの皆さんを募ってやっていらっしゃいます。また先程言われました様に観光ボランティアガイドの会の皆さん方も一緒になってやられたりとかですね。現在でもそういった取組はやっておりますけれども、これが更におっしゃる様に全体に広がる様な活動、そういった事には当然積極的に取組んで行きたいと思っております。

布施委員長

その他、いいですか。

(委員より「なし」という声あり)

(6) 美又温泉国民保養センターについて

ないようですので、続きまして、6点目の美又温泉国民保養センターについて、執行部より、ご説明をお願いいたします。金城支所産業課長。

芹原課長

美又温泉国民保養センターについて、という事でご説明いたします。

(以下、資料により説明)

布施委員長

只今説明が終わりました。委員の方から何か質問がありますか。牛尾副委員長。

牛尾副委員長

資料提供ありがとうございました。何日か前の読売新聞かな、日本休暇村サービスが読売の読者に対して全国の休暇村施設の割引券という招待券を全ページくらい使ってやっていたんですね。見たら美又は無いんですね、飛んでいるんですよ、全国の施設応募の中でね。非常に残念だなと思って、休暇村としてもここについて、まあ何で落ちた確認してませんから分かりませんが、新聞に載せる施設ではないと思って載せなかったのか、非常に残念だったなと思って見たんです。休暇村サービスさんはかつて千畳苑でそこそこ良い結果を出されたと、今いろんな話を聞いてますけど、これ体力があるからおそらくその27年までの5年間を受けるという事だと思うんですね。体力の無い企業なら撤退しますよという事で、はい終わりですねという様な事が当然想像できるんですけど、そういう意味では約束を守っておられるという事で、すごいなと思うんですが。ただやはりジリ貧ですよ。僕は美又の魅力っていうのは、やはり泉源だと思うんですよ。浜田中の温泉探して歩いて美又の泉源が一番じゃないですか。その泉源が一番良い所が何で売り上げが落ちるのかなという事で、まあ色々書いてあるんですけど、もう一回、かつては日本三大美人の湯とか言うのが頭に残っているんですけど、今出雲方面でも出雲大社遷宮に併せて女性客が増えたと、女子旅って言うんですかね。やはり三大美人の湯って三箇所しかない訳ですから日本に。何でそこに客が来ないのかなという。それで三大美人の湯って言うのは最近CMやってないんだらうと、僕見てないからわからないけど。やはり行政が手を入れられるところ、そういう売りですよ。だからもったいない所をほったらかしにしているって言うんじゃないけど、地域振興基金を使ってやれって言うんじゃないけど、そのこんなに良い泉源の温泉が暇になるっていうのは考えにくいんですよ。千畳苑を造る時に一番上を今人工温泉なってますけど、旧浜田市では人工温泉造る話にはならなかったんですよ。それで僕言ったんですよ温泉が無かったら人来ませんよという事で、あれは生湯から源泉を引っ張ってやろうと言ったらお金が掛かり過ぎるからそれはできませんという事で、じゃあ何か無いかという事で今の人工温泉にしたんですよ。何も無かったらもっと集客落ちてました。だからそこまでしなきゃ人が呼べないのに良いものを持っているのに何で客呼べんのんかという。シーズの藤原さんのところでも、その基本的な事をちゃんと言ってませんよね。やはりね僕はシーズというコンサル会社、元吉田村の藤原さん立ち上げた会社です、今息子さんの代ですか。もうちょっとその美又の売るべきところがあるのに、そこへ着目してもう少し大胆なやはり答申をしてもらえば違ったんじゃないかなと思って。色々言いましたけど、とにかく財産ですよ、だからこれ官民挙げてやらないと、今の様な視点で、日本で三大美人の湯かな、泉質は良いという事で、もう少し行政のコストを掛けてこの温泉に注目を集める様な仕掛けを

布施委員長
芹原課長

する必要があると思うんですけど、どうでしょうか。

金城支所産業課長。

この調査の中でもやはり一番良いところはやはり泉質と言われておりますし、かつては17万人を受け入れたポテンシャルも持っているところでございます。その中でも2年連続美肌の日本一とか、或いは今地域でも一緒になって美又温泉を盛り上げて再生しようというのが盛り上げて来ているところでございます。今後150年という来年度と言いますか今年が節目になるところでございまして、今後のおもてなしの部分、或いは営業力、集客力、或いはイベント力という様なところを取組をしたいという様に考えておまして、実は来年度の予算の中の元気枠というところでもお願いしたいと考えております。今一度今言われた泉質が非常に良いという所なのでその辺を基に地域と一緒に取組んで行きたいと考えております。

布施委員長

その他、委員の方ありますでしょうか。

(委員より「なし」という声あり)

(7) ゆうひパーク三隅の方向性について

ないようですので、続きまして、7点目のゆうひパーク三隅の方向性について、執行部より、ご説明をお願いいたします。三隅支所長。

石田支所長

まず最初に三隅の道の駅につきましては、平成24年の12月議会で西村議員、25年の3月、6月議会で牛尾委員から一般質問頂きまして大変ご心配かけている事案でございまして、本来でしたら執行部報告としてあげるべきところでした。遅くなりまして大変申し訳ございません。そうしますと少し時間をいただく様になりますが、ご説明したいと思います。

(以下、資料により説明)

布施委員長

詳細なる説明がありました。委員の方から何か質問がありますか。牛尾副委員長。

牛尾副委員長

改善もしてですね、詳細な資料提供いただいてありがとうございました。ようやく施設改修も始まるという事で、さっき支所長言われた様に施設改修するとコスト下がるんで、それはそれで早く急がれるべきだと申ししておりましたので良い事だと思います。色々ご苦勞されているようで、まあ道の駅はコスト掛かるので、道の駅その物を造った以上、守るために。道の駅が儲かるかとか儲からんかとかというのは違う次元の話ですので、それはあまりメインにしてする話ではないと思うんですが、一番心配するのは28年以降ですよね。僕は今交通量ほとんど変わりませんから、道の駅、三隅の前を通るお客さんは変わってないから、どうやって呼びこんでくるかという、そのパーセントの問題はですね、28年までは知恵の出し方で売り上げが増やせると思うんですよね、だからそれ以降はちょっとなかなか想像だけで物を言うのは不見識なんで言いませんけど、今のうちにさっき支所長言われた様に結構地元のファンが多いんですよ。地元のファンもう少し伸ばすという、僕は一般質問提案したそのシニアにターゲットを絞るとか女性にターゲットを絞るとか、道の駅の売り方ですよ。だからそれぞれの道の駅って道の駅のキャッチコピーでいろんな売り方をしてる訳ですよ。僕が言ったのは100円道の駅という、その表現良いか悪いか別にしてもですよ、やはりファンがいる以上もっとそのシニア層のファンを増やす

様な、例えば朝もっと早くして朝食を提供するとかという様な努力は、施設改修とか関係なしに出来る様な気もするんですよね。人の問題もあるでしょうけど、やはり通過客が変わらないという現状があるのであれば、そういう朝の集客、ゆうひパーク浜田も結構朝の麵処忙しいんですよね。それで朝食をさっと済ませてしまうという、ですからそういうマーケットがあるという事はそれに併せた営業形態をしないと、やはりお客さん入って来ないんで、何も変えなくても営業時間を少し変えるだけで、早朝について僕マーケットあると思うんですよね、5時以降については分かりませんが。やはりこの施設を何とか守らなくてはいけないという大前提があるので僕も色々言うんですけど。是非色々良い検討されて方向性も一定の方向性出ているんで評価をいたしますが、今言った様な朝のマーケットがあるという、全国どこでもそうなんです朝のマーケットがあるという。最近出てきた●えふしー●ある名前はありますけど、やはり朝食300円に設定しているんですよ。それはやはり朝のマーケットを考えているんですよね。ですから道の駅って競争相手はコンビニであり、ファーストフードいろんなところがあるので今までの様な事では生き残ってはいけないんで、ただ道の駅の機能は、儲かる儲からないは別にして残さないといけないと思っておりますが、その付帯施設の機能は今ある目の前にあるマーケットをもう少し取り込む様な努力をやはりおやりになった方が僕は結果が出るだろうと思いますので、今後とのご検討方お願いいたします。

布施委員長

その他、委員の方ありますでしょうか。

(委員より「なし」という声あり)

(8) 「元気な浜田枠」財源捻出に係る先送り普通建設事業について

ないようですので、続きまして、8点目の「元気な浜田枠」財源捻出に係る先送り普通建設事業について、執行部より、ご説明をお願いいたします。建設部次長。

下垣次長

元気な浜田枠財源捻出という事で26年度の普通建設事業費、産業建設分の事業についてご説明申し上げます。お手元の資料に一覧表を載せております。全部で24事業ございまして、上から農林課が2事業、それから建設部全体これ全ての自治区も含めたもので事業が5事業ございます。それから自治区別になりますと浜田が2事業、金城が4事業、旭が3事業、弥栄が5事業、三隅が3事業、合計24事業となっております。この中には全部先送りするものも7か所ほど入っております。これによりましてですね事業費5億2400万程度の事業費を捻出したところでございます。

布施委員長

只今説明が終わりました。委員の方から何か質問がありますか。牛尾副委員長。

牛尾副委員長

資料ありがとうございます。本会議で何か7億か8億っていう様な答弁をされましたが、その金額と5億2400万との乖離っていうのはどういう事なんでしょうか。

布施委員長

建設部次長。

下垣次長

はい、本会議で財政課長が申し上げたのは、他の部も全部入れておりましたですね。

布施委員長

他の委員の方、ないでしょうか。

(委員より「なし」という声あり)

(9) 長浜西住宅移転対象者の状況について

- ないようですので、続きまして、9点目の長浜西住宅移転対象者の状況について、執行部より、ご説明をお願いいたします。建築住宅課長。
- 佐々木課長 長浜西住宅移転対象者の状況について、ご説明いたします。現在長浜西住宅鉄筋コンクリート造の6階建てで、80戸の住宅の工事は順調に工事進捗しているところです。この住宅は熱田20戸、長浜12戸、城ヶ平40戸の72戸を統合して、80戸の住宅として建設するものです。72戸中現在の入居世帯は45戸です。表の中どころの計のところをご覧ください。三つの既存の住宅の入居者で長浜西住宅へ移転を予定されている方は39世帯、他の住宅への移転者は6世帯、という事で合計45世帯でございます。住宅完成しまして新規に募集する戸数は41戸となる予定です。
- 布施委員長 只今説明が終わりました。委員の方から何か質問がありますか。笹田委員。
- 笹田委員 資料ありがとうございました。結構多くの方がそのまま長浜西に移転されるという事で少し安心したんですけども、やはり6世帯ですか、の方は他の住宅へ行くという事は、何かしらの理由があると思うんですけど、その理由がわかればお願いします。
- 布施委員長 建築住宅課長。
- 佐々木課長 新しく立てます長浜西住宅の家賃がどうしても今入居されている所と乖離があります。段階的に家賃補正で段階的に家賃を上げて行く訳なんですけど、将来的な事も考えられて、そちらの違う住宅へ入居を希望されている方が多いのだと思っています。
- 布施委員長 笹田委員。
- 笹田委員 分かりました。家賃の事でという事なんですけれども、この6世帯の方から色々何でなんだとかクレーム等々無くそのまま普通どおり引っ越されるという認識でよろしいでしょうか。
- 布施委員長 建築住宅課長。
- 佐々木課長 多分喜んでという事は無いかと思いますが、協力的に移転の予定をつめてもらっています。
- 布施委員長 その他、委員の方ないでしょうか。
(委員より「なし」という声あり)
ないようですので、以上で所管事務調査を終了します。

8. その他

- それでは、議題の8. その他、を議題とします。執行部から、その他として何かありますか。
- (執行部より「ありません」という声あり)
- それでは、委員から、その他として何かありますか。
- (委員より「なし」という声あり)
- 事務局から、その他として何かありますか。
- (書記より「特にありません」という声あり)
- それでは、ないようですので、以上をもちまして、その他事項を終了させていただきます。

田崎課長
布施委員長

それでは、ここで今年度をもちまして退職をされる課長級の方に、一言ご挨拶をお願いしたいと思います。該当の方がお二人おられますが、大田久一三隅支所産業課長さんは、本日欠席されておられますので、田崎健三隅支所建設課長さん、よろしくお願いいたします。

(田崎課長 あいさつ)

(布施委員長 あいさつ)

それでは、執行部の方におかれましては、ここで退室されて結構です。大変ご苦労さまでした。

《執行部：退室》

なお、委員各位におかれましては、当該委員会に付託されました市長提出の議案5件について、各議案別に採決を行っていきますので、今しばらくお付き合いいただきますようご理解のほどよろしくお願いいたします。

それでは、これより、市長提出の付託議案について、順次採決を行います。

1. 議案第8号 浜田市手数料条例の一部を改正する条例について

それでは、まず、議題1. 議案第8号 浜田市手数料条例の一部を改正する条例について、を議題とします。お諮りいたします。

議案第8号について、原案のとおり可決すべきものと決することに、ご異議ありませんか。

(「異議なし」との声あり)

本議案については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

2. 議案第15号 浜田市工場立地法準則条例の制定について

引き続きまして、議題2. 議案第15号 浜田市工場立地法準則条例の制定について、を議題といたします。お諮りいたします。

議案第15号について、原案のとおり可決すべきものと決することに、ご異議ありませんか。

(「異議なし」との声あり)

本議案については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

3. 議案第18号 指定管理者の指定について(旭温泉あさひ荘)

引き続きまして、議題3. 議案第18号 指定管理者の指定について(旭温泉あさひ荘)、を議題とします。お諮りいたします。

議案第18号について、原案のとおり可決すべきものと決することに、ご異議ありませんか。

(「異議なし」との声あり)

本議案については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

4. 議案第20号 市道路線の認定について(美川南76号線)

引き続きまして、議題4. 議案第20号 市道路線の認定について(美川南76号線)、を議題とします。お諮りいたします。

議案第20号について、原案のとおり可決すべきものと決することに、ご異議ありませんか。

(「異議なし」との声あり)

本議案については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

5. 議案第21号 土地改良事業計画について(農地災害関連区画整備事業(大津地

区))

引き続きまして、議題5. 議案第21号 土地改良事業計画について（農地災害関連区画整備事業（大津地区））、を議題とします。お諮りいたします。

議案第21号について、原案のとおり可決すべきものと決することに、ご異議ありませんか。

（「異議なし」との声あり）

本議案については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、産業建設委員会に付託を受けた議案の審査は全て終了いたしました。

8. その他

それでは引き続きまして、議題8 その他を議題とします。

行政視察そして送別会について私の方から言いますけれども、まず行政視察について、幹事報告がありましたらお願いいたします。

牛尾副委員長

今日皆さん方に資料をお配りしましたが、当初北海道のそのプロミスの社長がやっている農園の視察もありましたが、ちょっとスケールが違うので事例として参考にならないという事で、元々このスラグで海に栄養という魚礁造るというのが、北海道の日本海側の寿都町という所で、町長自らやっているのだから結果が出ているという事がございましたが、その同じ様な方法で北海道のこれ白老町、白老町で土壌改良やっていると鉄鋼スラグで、という事で海と農という関係で視察をすればという計画をしております。それで併せて結構移動が大変なんですけど、事務局と色々検討してありましたら、函館もどうも行けそうだという事で、函館なんで行くかと言うと今商店街を中心にバルというのをやっていますが、日本のバルの発祥が函館という事でありまして、許せば函館へ行ってみたいなと思っておりまして、それで併せて函館へ行くのであれば、函館イカ釣協議会というのがございます。これまだ相手方がある事で相談しなければいけませんけれども時間も、ポートセールスで函館も時々行くという事があるので、流れの中でもし寄る事が出来ればこの常任委員会で函館イカ釣協議会を、例えば30分でも表敬出来ればなという様な事も併せて今、条件として検討課題として考えておりますのでよろしくお願ひします。それでな北海道中心として考えておりますがその他こういう所も非常に良いのではないかとこの事がありましたら委員の皆さんからご提案いただいで、十分まだすり合わせできる状態ですのでよろしくお願ひします。それから日程についてもやるんかいな。ある程度の日程については、前回6月の終わりから7月の頭ぐらいじゃないかなという様な事で、6月の終わりなら6月議会の終わる日が分かれば、まだ分かってないんだよね。

事務局。

布施委員長
浜野書記

総務課の方から、事務局にもまだ相談していないという状況で日程をいただいたんですが、一応24日が最終日という事で伺ってます。ただ先程も申しました様にこれ事務局ともまだすり合わせしていない状況の日程です。一応そういった状況です。それとですね先程函館というご提案ございましたけれども、飛行機便 J A L 便と A N A 便がありまして、J A L 便ですと広島発が11:10、それで千歳発が13:40という事になりまして、ちょっと

この行程で行きますと組めないかなという様に思っております。時間的には朝ゆっくり出発して帰りも夕方浜田に着くという行程がJALでは組めると言うんですけども、それだとちょっと北海道での日程が厳しくなってくるかなと思います。もう一方ANA便が広島発が8:00になります。それで新千歳発が18:55、ですので浜田発がかなり早い時間で出発して、深夜に帰ってくるというパターンになろうかと思っております。こちらだと北海道での時間的余裕のある日程が組めるという状況でございます。

牛尾副委員長

今ANAとJALの関係ありましたが、どうですかね、ある程度少し早く出ないと見れないという事なんで、行政視察なんで良い所があれば1か所でも余分に見ると言う事で、多少早い遅いってというのは皆さん覚悟してもらってやるという様な事で進めても良いですかね。大丈夫ですか。

(委員より「大丈夫です。」という声あり)

布施委員長

そうすると日程が大体24日終わると火曜日ですよ。25、26、27が水、木、金になります。それで土日を挟んで月末が30日で月曜日なんです。7月1日は火曜日、というその週があるんですが、大体日程的に決めていただいた方が組みやすいと思うんですが相手方もありますので、皆さん方日程の事について、7月の初めという、

牛尾副委員長

例えば6月30日からぐらいが良いのか、1、2、3ぐらいが良いのか、むしろ月末ぎりぎりよりも上げた方が皆さんのご都合どんなですかね。7月あんまり遅くなると今度料金上がるからね。

西田委員

6月30日から7月の4、5日までの間でとれるところで。

牛尾副委員長

それじゃ一応、30日からで一応計画しても良いですか。

(委員より「はい」という声あり)

それじゃ30日から行きますと30、1、2という事で、一応この週で決めさせてもらいます。

布施委員長

それじゃ事務局、その部分で、また相手方との、最終的な事もありますけれども、調整していただきたいという様に思っております。幹事としてしっかりやっていただきたいと思っております。

それではもう一つ送別会についてご報告いたします。先程ご挨拶されました課長さん以外にですね、今年度3月末を持って平中建設部長、そして石田三隅支所長、大田三隅支所産業課長、田崎健三隅支所建設課長、この所管の関係しておられる4名の方が退職されます。つきましては送別会を開くんですけども、皆さん方に送別会の通知をさせていただいている訳なんです。3月25日火曜日、午後7時から副委員長の所でございますが、SAKURAで行います。会費は失礼ながら会費制とさせていただきますのでよろしくお願ひします。皆さん方の都合があると思っておりますけれども是非ともご参加いただきまして、4名の方の労をねぎらっていただきたいと思っております。飛野委員。

飛野委員

大変恐縮ですが、その日どうしても都合つきませんので。

布施委員長

はい分かりました。また終わられたら声をかけてあげてください。

その他として、各委員から何かありますか。

それでは、以上を持ちまして産業建設委員会を終了いたします。皆様、ご苦勞さまでした。

浜田市議会委員会条例第65条第1項の規定により委員会記録を作成する。

産業建設委員会委員長 布 施 賢 司 ㊞

[13 時 10 分 閉議]